

基本計画策定にあたり検討協議が必要と想定される項目

基本計画は、「全体計画」、「資源化施設整備計画」、「最終処分場整備計画」の3つに分けて検討を進めていきます。

現時点で検討が必要と想定される項目は以下のとおりとなっています。

なお、検討項目には、建設地の決定後でなければ検討できない項目があります。

【検討項目】

計画構成	検討項目	検討内容	検討時期
全体計画	施設整備方針	整備する廃棄物処理施設の 位置付けや方向性 を検討	建設地決定前
	環境保全計画	水質・振動・騒音、悪臭等の 環境基準 や自然環境、景観等の 保全目標 を検討	建設地決定前
	全体施設配置計画	作業の容易性や経済性などを勘案し、 車両動線や施設配置 を検討	建設地決定後
	施工計画	本工事と関連する工事との 工程調整 や周辺への 公害防止対策 を検討	建設地決定後
	跡地利用計画	周辺の土地利用や自然環境を踏まえ、 跡地利用の方針 を検討	建設地決定後
資源化施設整備計画	処理対象廃棄物	推計したごみ排出量や過去の実績を踏まえ処理対象とする 廃棄物の種類と質 を検討	建設地決定前
	施設規模 (計画処理量)	処理対象廃棄物の検討を踏まえ、 施設規模(計画処理量) を検討	建設地決定前
	搬入出条件 品質条件	使用する車両の 搬入出形態の条件 と資源化施設で 選別されるものの純度や回収率 を検討	建設地決定前
	処理方式	本市のごみ処理システムに適合する各種廃棄物の 処理方式 を検討	建設地決定前
	処理残さの処理	本施設から発生する 破砕可燃物や処理不適合物等の処理方法 を検討	建設地決定前
	プラント計画	機器構成や火災等への安全対策、 寒冷地対策 のほか、 受入供給設備 や各種ごみ処理系列の プラント設備等 の内容を検討	建設地決定後
	土木建築計画	居室の種類や用途、見学者への配慮等を考慮し、工場棟や管理棟の 構造や平面計画等 を検討	建設地決定後
	運転管理計画	年間運転日数や稼働時間等の 運転条件 のほか、保守点検等の 補修条件 などを検討	建設地決定後
	事業手法	民間活力の導入手法を検討	建設地決定後

計画構成	検討項目	検討内容	検討時期
最終処分場 整備計画	埋立対象廃棄物	推計したごみ排出量を踏まえ、埋立処分が必要となる 廃棄物の種類 を検討	建設地 決定前
	施設規模 (計画埋立容量)	埋立量と覆土量の推計を踏まえ、 施設規模 (計画埋立容量) を検討	建設地 決定前
	構造形式	経済性や環境保全性、廃止後の維持管理などを勘案し、 構造形式 を比較検討	建設地 決定後
	遮水構造検討のための 水文地質解析	既存調査結果等に基づき、 地質や地盤の透水性、地下水賦存状況 を検討	建設地 決定後
	浸出水量と調整設備	浸出水量と浸出水調整設備 を検討	建設地 決定後
	埋立地の分割整備と 区画埋立	初期投資額や浸出水量の削減の観点から 埋立地の段階的整備と区画埋立 を検討	建設地 決定後
	貯留構造物と埋立地の 造成	必要埋立量を埋立処分できる 貯留構造物と埋立地造成形状 を検討	建設地 決定後
	遮水計画	水文地質解析や最新技術を踏まえ、遮水の確実性、経済性等を勘案し、 遮水形式 を検討	建設地 決定後
	浸出水処理施設	流入水と計画処理水の水質を設定し、浸出水処理施設の 規模や処理フロー、各処理設備の方式等 を検討	建設地 決定後
	浸出水集排水施設	日降水量や浸出水量を踏まえ、浸出水集排水施設の 配置と規模 を検討	建設地 決定後
	地下水集排水施設	埋立地周辺の地形や造成形状等を勘案し、地下水集排水施設の 配置と規模 を検討	建設地 決定後
	雨水集排水施設	雨水の埋立地内への侵入防止や埋立造成終了後の雨水排水等を勘案し、雨水集排水施設の 配置と規模 を検討	建設地 決定後
	ガス抜き施設	埋立廃棄物の分解安定化促進に必要な ガス抜き施設の配置と規模 を検討	建設地 決定後
	搬入管理施設	搬入車両の台数と形式を勘案し、 トラックスケールの規模と台数 を検討	建設地 決定後
	管理棟	計量設備機器や浸出水処理施設の制御設備、事務所等の必要面積を確保できる管理棟の 建築計画 を検討	建設地 決定後
	事業手法	民間活力の導入手法を検討	建設地 決定後